



つるおか市立図書館 おはなしポケット 2018.7.V0|272

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 休館日	3	4 ☺ 4じ~ おは水	5	6	7 ☺ 3じ~ おはどん
8	9 休館日	10	11 ☺ 4じ~ おは水	12	13	14 ☺ 3じ~ おはどん
15	海の日 6 ☐	17 休館日	昔語りの日 18 ☺ 4じ~ おは水	19 おは水	20 おは水	21 ☺ 3じ~ おはどん
22	23 休館日	24	25 ☺ 11じ~おはちび 4じ~おは水	26	27	28 ☺ 3じ~ おはどん
29	30 休館日	31	開館時間@平日 9:30~19:00 土・日・祝祭日 9:30~17:00 休館日@毎週月曜日 祝祭日が重なった場合は翌日*17日休館			

なつやすみのイベントがやってきます!

おはなし会
スタンプラリー
☆夏バージョン☆

期間中の館内おはなし会
にきてくれたおともだちは
スタンプもらえます。3つあつめて
プレゼントもらいましょう!

7/18(水)~8/29(水)

えほん
クイズ

おはなしポケット
おすすめ本
コーナー

えほんコーナーにもあります。

メンバーによる
おすすめの本の
コーナーあります!
どんどん
かりてね

8/4(土)・5(日) 10:30~11:20
なつのおはなし会

市立図書館
2かい 講座室

4日
・おかあさんごちそう
・ふたりのケーキ作り
・サンドイッチ・サンドイッチ♪

5日
・くまさんおでかけ
・はらぺこザウルス
・おはげのてんぷら

からすのパンやさん

館内おはなし会のご案内

<7/18~は夏のスタンプラリーになります>

☺おはすい	☺おはちび	☺おはどん
毎週水曜日 4時~4時30分	第4水曜日 11時~11時30分	毎週土曜日 3時~3時30分
絵本や 紙しばいなど 第3水曜日は 昔語りの日	0~1才向けの おはなし会 手あそび わらべうた など	季節のおはなしや 紙しばいや 絵本など

おさがるにどうぞ!
途中の入退室できます。

館長の



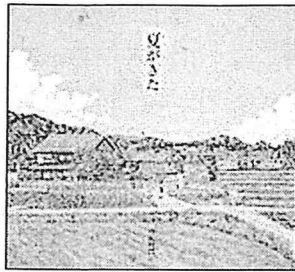
こども室の本棚から



七月になりました。梅雨が明ければ、暑い夏がやってきます。子どもの頃は、ほんとうに楽しみだった「夏」、「海」、「スイカ」、「花火」。昨今は、暑さを楽しむことが難しいお年頃になってきましたが、今年は、子どもの頃を思い出して、孫と楽しむことにいたしましょう。

さて、今月は「夏がきた」(羽尻利門作 あすなろ書房 2017 年刊)を紹介します。この絵本の表紙を初めてみた時、手に取らずにはいられませんでした。まさに、懐かしい夏が切り取られて、絵本の表紙になったような。ああ、この場所に行って、子どもになって走りたい。と心の底から思いました。

絵本の中には、多分今より少し前、20 年か 30 年前の「夏」があります。小学生の男の子四人の、夏の一日が描かれています。海には、走っていけるほど近くに住んでいます。海に遊びに行くと、海開きの日に向けて、海の家での準備をしています。一生懸命お手伝いをして、おにぎりとスイカを食べて、土砂降りのにわか



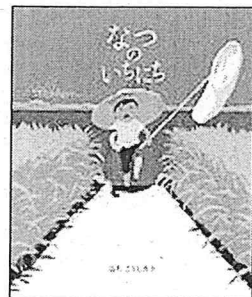
「夏がきた」
羽尻利門 作
あすなろ書房
2017年

雨が上がったら、お土産にもった花火を持って家に帰ります。最後のページは、線香花火の絵に、「なつがきた」の文字。

文章は短く簡潔ですが、絵がものを言っています。どのページにも、鮮やかに夏の一日が切り取られています。そう、この絵本に一番似合う言葉は「鮮やかに」です。子どもの頃、そして我が子を育てていた頃のことが「鮮やかに」思い出されます。ちょっと懐かしい感じ。

今の子どもたちに読んであげたら、どんなふうを感じるのでしょうか。今の風景とは少し違うかもしれませんが、「夏」のわくわく感をきくと感じてくれはらずです。細かなところまで、よく絵を見てください。描きこまれている絵の中に、たくさんのストーリーが隠されていますので、それぞれのページで見つけてください。夏を待つ季節に、夏休みを待つ子どもたちに、読んで欲しい一冊です。

暑い夏ですが、涼しい図書館で「読書」という時間も、どうぞお楽しみください。



「なつのおとずれ」
かがくいひろし 作・絵
PHP 研究所
2008年

「なつのいちにち」
はたこうしろう 作
偕成社
2004年

☆おはなしポケットメンバーおすすめ本☆

「ゴムあたまボンたろう」 長 新太 作 1998年 童心社
ボンたろうは頭がゴムでできている男の子。山にボンとぶつかってボールのように空を飛んでいきます。

大男の野球のバットの角に当たって…次はどこに行つて何にぶつかるのか。最後はいったいどうなるのか…。

中学生のころ、通学途中のおしゃべりの一つに「昨日見た夢を言い合う」というのがあった。奇想天外なストーリーであればあるほど盛り上がった。果てしなく自由で、いちいち笑っていた。

長新太さんの描く、「昨日見た夢」みたいなとっても不思議な世界を旅してみませんか。



「ふしぎなえ」 安野 光雅 1968年 福音館書店

この本を子どもたちに読み聞かせたことがありません。なぜなら「字」がないからです。

でも、こどものころ、この本を「読む」のにとっても時間がかかりました。

読めば読むほど、頭がくらくらして、地面がふわふわしてくるからです。何とも言えない気持ちになるのです。

パソコン、タブレット、スマホ…便利なツールでおはなしに出会う機会がこれからもっと増えていくかもしれません。その是非はともかく、紙のページをめくって、触れてほしい本の一つです。



おはなしポケット あーこ

〜てあそび・わらべうた やってみよう〜

『なつとう』 7月10日は「なつとう」の日♪

- ① なつとう なつとう ② ねーばねば はあ ねーばねば

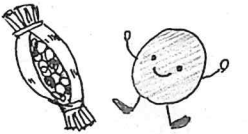


(手をグーにしてまわす)



×2

(手をまん甲から広げてのぼす、
「ねーばねば」で2回くりかえし)



- ③ おおつぷなつとう ④ こつぷなつとう ⑤ おかめなつとう ⑥ 水戸なつとう



(おたまりのうすで大きくマシ)



(むねの前で手でマシ)



(ほっぺに手をあてる)



(3と10をつくる)
み と

- ⑦ なつとうなつとう
ねーばねば はあ ねーばねば
(①〜②くりかえし)



大きくまぜて
「みきりねえ」など
かえりたえ OK!



「水戸なつとう」は
右手をまぜて
出しも OK!
(印刷を出すマシ)